

～世界は私の教室だ～

The World  
is  
MY CLASSROOM!



県立米原高校 英語教師  
ほり お み お  
**堀尾 美央** さん(高月町馬場)

撮影場所：長浜市役所



△スカイクを使った授業風景

今年、無料通話アプリ「スカイク」を使った授業が評価され、教育界のノーベル賞と呼ばれる「グローバルティーチャー賞」のトップ50人に日本人で唯一選ばれた堀尾先生。県立米原高校で英語を教えている教師です。

堀尾先生が英語を本格的に始めたのは中学1年の夏。ふとしたきっかけで、韓国やアメリカの人たちと英語での文通を始めることに。「文通を始めてしばらくしたら、全く聞き取れなかった英語が面白いようにわかるようになった」と一気にのめり込むようになりました。

その後、外国語大学に進学。当時は教師という職業をあまり考えておらず、これからの就職先に悩むことも。そんな中、母校の米原高校に教育実習に。「とても大変でしたが、生徒たちの笑顔や挨拶

にやりかいたを感じた。英語教師を志すきっかけとなりました」と話します。

その後、県立高島高校に赴任。外国人が身近に少なく、生徒たちの英語を学ぶ意欲が上がりにくい環境でした。そんな中、担任をしていた生徒2人から「英語で討論するディベート大会に出たい」と相談を受けます。最初は、ディベートができるレベルの英語力ではなかったのですが、放課後にALTとともに練習を重ね、県のディベート大会で健闘するまでに上達しました。「なにかきっかけがあれば、生徒は変わると実感しました」。同じ頃、生物の先生がスカイクを使って、北海道の旭山動物園と中継を繋いで授業をしているのを見て、「これなら外国人が少ない環境でも、いろんな国の人たちとコミュニ

ケーションが取れる」と考えた堀尾先生。そこから試行錯誤し、平成28年から赴任した米原高校でスカイクを使って、ケニアの高校生との交流が実現しました。「挨拶ってどんなの?」、「ジャンボだよ」。やり取りがある度に生徒が沸きました。「これが生徒の意欲を湧き上がらせるきっかけとなる」と確信した堀尾先生。通常の授業を行う中で、時間を作り、交流授業を続けました。

「スカイクを使っての授業はあくまでも手段。大切なことは、どんな場所でも、どんな環境でも、子どもたちが平等に質の高い教育を受けられること。」堀尾先生のあふれ出すアイデアが、今後も子どもたちに大きな影響を与えるでしょう。

今月の表紙

足踏みしながら5日の出を待ち焦がれた冬の朝。やがて昇った太陽が、凍っていた大地に希望を与えようとして、辺りをオレンジ色に染めていきました。(12月11日撮影)

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



おしゃべり大好きなすいな。いつもにこにこ笑顔をありがとう！すくすく大きくなあれ！

瀧上  
すい な  
翠奈ちゃん(平成29年8月生まれ)  
(祇園町)

布施  
ゆうり  
悠利ちゃん(平成29年10月生まれ)  
(口分田町)



悠利くん、好奇心旺盛で元気いっぱい！育ってくれてありがとう！これからもすくすく大きくなってね！

まちの人口	平成30年12月1日現在	人口118,545人	男58,070人	女60,475人	世帯数45,711世帯
	平成30年11月中の異動	転入205人	転出256人	出生82人	死亡127人 婚姻41件